

利用成果報告書

- 1 課題番号 H30-L05
- 2 報告者 橋本祐一 東京大学定量生命科学研究所生体有機化学研究分野
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 生体有機化学研究分野の戦略的基礎分子医薬化学に関する化合物の組成分析
- 5 使用装置名 元素分析装置(依頼分析)
- 6 利用期間 平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日
- 7 利用成果・実績の概要
アカデミア創薬研究のミッションの一つに、新たな治療戦略の提案や、関連する、新たなタイプもしくはカテゴリーの医薬創製の提案に繋がる新規生物活性物質の創製研究がある。本研究者らは、様々な新機能生物活性物質の創製研究を遂行した。合成した化合物は、生物活性を検定する上でもその構造と純度を正確に確認する必要がある。そのために最も信頼できる分析法の一つとして、化合物の組成式を確定し、純度を保証する元素分析を行った。元素分析データによって構造と純度が裏打ちされた化合物試料を用いての生物検定結果の持つ信頼性は高い。元素分析データによって構造と純度が確認できた化合物について、生物活性解析等を行った。
- 8 社会・経済への波及効果
創出する新規生物活性物質は、新規医薬シーズ候補として、未だ治療薬が存在しない、あるいは満足できる治療法のない(アンメット・ニーズ)疾病に対する治療戦略の提案に直結する。

9 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果(発表題目、口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
Development of dual BRD4/HDAC inhibitors.(ポスター)	T. Noguchi-Yachide, S. Amemiya, T. Yamaguchi, Y. Hashimoto	Strasbourg, France (54th International Conference on Medicinal Chemistry)	July 4-6, 2018	国外
HMG-CoA還元酵素の分解を誘導する低分子化合物の構造活性相関とプローブ化(ポスター)	鷺森郁也、吉岡広大、橋本祐一、大金賢司	京都テルサ(第36回メディシナルケミストリーシンポジウム)	11.28~11.30 (2018)	国内

10 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
Development of novel silanol-based human pregnana X receptor (PXR) agonists with improved receptor selectivity.	H. Toyama, S. Sato, H. Shirakawa, M. Komai, Y. Hashimoto, S. Fujii	Bioorganic and Medicinal Chemistry, 26(15): 4493-4501 (2018)	H30.9.1	国外
Novel nonsteroidal progesterone receptor (PR) antagonists with a phenanthridinone skeleton.	Y. Nishiyama, S. Mori, M. Nakagomi, M. Makishima, S. Fujii, H. Kagechika, Y. Hashimoto, M.Ishikawa	ACS Med. Chem., 2018(9): 641-645.	H30.6.23	国外